

Curriculum 2026年度開講科目 ※年度当初、変更となる場合があります。

卒業に必要な単位:124単位
 専門教育科目:78単位
 全学共通科目:22単位
 広域選択:24単位
 必修:30単位
 選択必修:16単位
 選択:32単位

	1年次	2年次	3年次	4年次
成長のプロセス	心理学を理解するための土台となる基礎科目を幅広く学ぶ。	駒澤大学ならではの禅心理学を含む様々な分野の心理学を学ぶとともに、実験・研究方法などへの理解を深める。	心理学実験演習を通じ、さらに研究スキルの向上を図る。	少人数で行われる演習(ゼミ)に所属し、興味あるテーマについて集中的に学ぶ。
必修	<ul style="list-style-type: none"> 心理学概論I・II ① 心理学統計法I・II コンピュータ実習I・II ② 	<ul style="list-style-type: none"> 心理学実験I・II 心理学研究法I・II 禅心理学I ③ 		<ul style="list-style-type: none"> 演習 卒業論文
選択必修	<ul style="list-style-type: none"> 知覚・認知心理学(知覚)・(認知) 感情・人格心理学 学習・言語心理学(学習)・(言語) 社会・集団・家族心理学(家族)・(社会・集団) 	<ul style="list-style-type: none"> 神経・生理心理学 臨床心理学概論 発達心理学概論 教育・学校心理学 	<ul style="list-style-type: none"> 心理学実験演習I~VII(A/B) 	
選択	<ul style="list-style-type: none"> 心理学入門 	<ul style="list-style-type: none"> 公認心理師の職責 情報処理I・II(A/B) 心理検査法A/B カウンセリング概論 ④ 心理学的支援法 精神疾患とその治療 人体の構造と機能及び疾病 健康・医療心理学 障害者・障害児心理学 比較行動学特講 	<ul style="list-style-type: none"> 発達心理学特講 ⑥ 宗教心理学特講 産業・組織心理学 司法・犯罪心理学 環境心理学 スポーツ心理学 ⑤ 行動マネジメント パーソナリティ心理学特講 人工知能I・II 発達臨床心理学 	<ul style="list-style-type: none"> 心理学特講I~III(A/B) 心理的アセスメント 福祉心理学 関係行政論 心理調査法 福祉社会学 歴史社会学 宗教文化論 産業と変動の社会学 雇用と労働の社会学
	<ul style="list-style-type: none"> 障害者福祉 経済原論 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者福祉 行政法A/B 	<ul style="list-style-type: none"> 児童・家庭福祉 労働法 	<ul style="list-style-type: none"> 民法A/B
	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育入門 	<ul style="list-style-type: none"> 禅心理学II ③ 心理学特殊演習I・II 	<ul style="list-style-type: none"> 心理演習(臨床) 	<ul style="list-style-type: none"> 心理実習(臨床)

① 心理学概論

人の心を理解することを目指す心理学。その研究領域は、社会心理学、発達心理学、認知心理学、臨床心理学など多岐にわたります。動画等のメディアを活用しながら、各領域の理解を目指します。

② コンピュータ実習

心理学研究においてはコンピュータの活用が必須。文書作成、プレゼンテーション、表計算、統計処理ソフトを使ったデータ解析について学び、課題を通して知識と技術を定着させます。

③ 禅心理学

心理療法やカウンセリングと同様に、坐禅には緊張を緩和し回復力を高める効果が明らかにされています。禅がもたらす心理作用を知り、禅思想を心理学的な観点から考察します。

④ カウンセリング概論

カウンセリングは対人支援の方法の一つです。その理論や技法について学ぶとともに、人間理解の基礎知識の修得を目指します。

⑤ スポーツ心理学

スポーツに関する心理学的な諸問題について研究する学問領域です。この講義では、スポーツ心理学の理論とその実践的な利用法について学ぶことを目的とします。

⑥ 発達心理学特講

乳児、幼児、児童、青年、成人から高齢期へ、人は生涯を通じて発達し続けます。発達段階に応じた心理的な特徴をとらえ、それぞれの時期に必要な課題を見極めることで、生涯にわたる心の変化を理解します。

Message

心理実習で感じた、関係を調整する力と柔軟な対応力の重要性

高校時代に観たドラマをきっかけに犯罪心理学に興味を持ちました。当初は警察や研究機関で犯罪心理を扱う進路を考えていましたが、大学での実習を通じて企業へのカウンセリングに関心を抱き、臨床心理の道へ進むことを決めました。実習では、企業文化や人事部との関わりの難しさを肌で感じ、他者同士の歩み寄りを引き出す力や柔軟な対応力の重要性を強く意識するようになりました。大学生活では、3年次にはサークル代表を務め、人間関係

の難しさやチームマネジメントの課題に直面しました。幹部や後輩との関係調整や会費制の導入などを試みの中で、リーダーとしての働きかけ方を学び、心理学の知識を実践的に活かす経験となりました。将来は企業のメンタルヘルス支援に携わることを目標とし、大学院進学と公認心理師資格の取得に向けて努力しています。これまでの実習やサークル活動で得た経験を糧に、研究や支援の場で活かしていきたいと考えています。



瀧澤 涼さん
 心理学科 4年
 北海道旭川永嶺高等学校 出身

1 Week Schedule

[2年次]後期

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.
1	心理学研究法II	心理的アセスメント				
2		犯罪と逸脱の社会学	日本語リテラシー(4)		人格心理学特講	
3	心理学的支援法	心理学実験II		哲学(3)	健康・医療心理学	
4		青年心理学	関係行政論	英語IIAb		
5	公認心理師の職責		児童心理学	精神疾患とその治療		
6						